

# 明日に駆ける



(有)ジエイエスティー  
代表取締役  
城ヶ崎 豊海さん

公共事業に携わる企業にとってISO取得

は何よりの急務だが、費用の面で一の足を踏む向きも多い。審査機関に支払う金額だけでも低く押さえようと、同業種でのグループ審査を提案する。「共同企業体のイメージで考えてもらいたい。その中でシステムを構築し

## 合同審査で経費節減を

ISOの本質は経営改善のツール。学ぶべきところは多く、利益も出るようになります。

西日本エリヤを飛び回る多忙な毎日を送る。

「ISOの本質は経営改善のツール。学ぶべきところは多く、利益も出るようになります。西日本エリヤを飛び回る多忙な毎日を送る。」

## 日本電設工業鹿児島営業所

日本電設工業(株)鹿児島営業所(鹿児島市西田3丁目、津曲豊二所長)が曾於郡志布志町と鹿屋市間の国道220号で施工中の光ケーブル敷設工事現場事務所(肝属郡串良町下小原、満光現場代理人)はこのほど、地域住民にも呼び掛けて集団献血を実施し、関係者に喜ばれた。

同社は鹿屋・肝属地区の株式会社(株)南日本電気工業(株)で、また経営士の資格あり、まだ経営士の資格

を含めて40人が参加、効率のよい献血は日赤関係者を喜ばせた。

快く献血を行う社員ら=志布志町で

“真心とほほ笑みと”をモットーに!!

家具総合卸  
南日本家具工芸株式会社

鹿児島市東開町13-30  
TEL(099)269-7111 FAX 268-0385

(齊藤實代表理事)はこのほど、安全パトロールを実施、寿地区生涯学習施設新築工事など4カ所の建築現場を対象に安全衛生管理の取り組み状況などを重点項目を入念に診断、年末・年始の繁忙期を控えて、徹底した指導と督励を行った。

鹿屋労働基準監督署、鹿屋土木事務所、鹿屋市担当者、九州電力㈱、設計事務所、それに会員40人など総勢約55人が参加。午前9時までに鹿屋商工会議所駐車場に集合。

齊藤代表理事が「よいよ年末に入る。事務所、職場診断員とともにメモを取り、しっかりと診断してその成果を自社の安全管理

## 事故事例に学ぶ姿勢を

理等に反映させよう」と激励。上之段勝雄労務委員長が診断現場、診断重

点項目等を説明の後、2

台のマイクロバスに分乗、

現場診断後は同市のホ

テルこばやしで反省会を開き、上之段労務委員長を座長に現場事務所、工事現場ごとに診断報告、

「ストップに用いがな

った」「足場に足が入り

込むなどの穴があつた

「下請け責任者名がなかつた」など一部指摘があつたが、整理・整頓など

5S運動が定着、安全施

工サイクルなど安全管理

体制は良好と診断。最後

に鹿屋労働基準監督署の

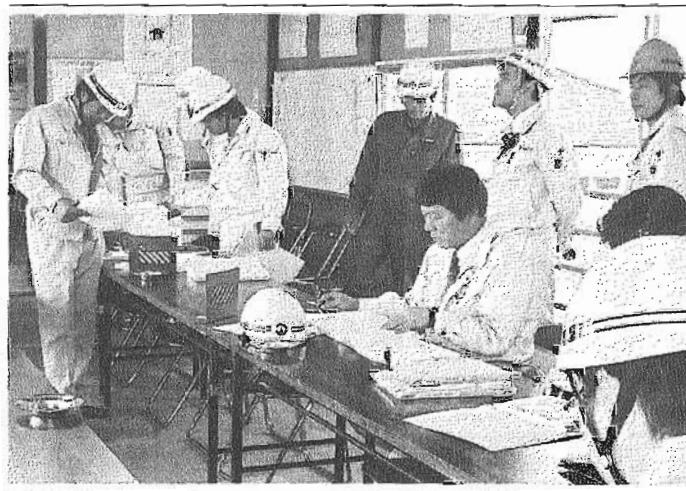
磯元昭二労働基準監督官

は「関係者の発表を聴いて勉強になった。しか

りした診断に感心した。

こうした気持ちが無災害につながる。4

とおり、総体的に



繁忙期を控え、徹底した指導と督励をしたパト一行=鹿屋市の現場で



省エネや蓄熱の説明を真剣に聴く出席者=鹿児島市の九州電力鹿児島支店で

## 電力需要の見通し学ぶ

三菱電機(株)は南菱冷熱工業、丸岩電機の共催で5日、空調技術フォーラムを開き、電気事情と省エネや蓄熱の説明を真剣に聴く出席者=鹿児島市の九州電力鹿児島支店で

州電力㈱鹿児島支店営業部産業エネルギー提案グループ長が現在の電気事情と省エネ並びに蓄熱について紹介した。また、池田孝志三菱電機(株)冷熱システム製作所営業部空調営業課グループリーダー

一が「環境保護・省エネの業界動向と同社対応」について講演した。

この中で、秋吉氏は九

州の電力需要の長期見通し(11年から22年度)で最大電力の年平均伸び率

が2・3%となる。また、夏季ピークに気温1度上昇することで冷房需要が

50万kWから60万kW增加

することから、夏季最大電力の抑制と電力の負荷

平准化への取り組みが必

要であると前置きし、「夜間に蓄熱した夜間電

力を昼間に放熱するエコ

アイスは安価な夜間料金利用と昼間電力提言によ

るデマンド抑制ができる

ランニングコストや二

シャルコストの面でも有

利である」などと述べた。

また、池田氏は新冷媒

化、高COP化、再利用、省資源化、冷媒回収など

について説明した。

また、優勝するまで何度

でも挑戦できるのではどの質問に対しても井川さんは

「もっと技術の向上を目指して修練し、チャンスがあればチャレンジしてみたい」とやる気を見せていた。

## 県庁訪れ喜び報告



敢闘賞の井川さん(中央)を囲み記念撮影=鹿児島市の県庁で

## 技能グランプリ敢闘賞受賞の井川さん

島根県で先月末に行われた第21回技能グランプリにて、井川真一さん(井川豊店)が5日、県庁を訪れて受賞の喜びや大会当時の様子を報告した。

井川さんは、脇元康夫県職能能力開発協会事務局長、増田勇県職業組合理事長らと一緒に県商工観光労働部の富岡忠勝部長のもとを訪れ、大会の様子を綴った

アルバムを見ながら「ペー

」

し「今後も事故事例に学ぶ」と付け加えた。